

令和7年度 全国健康保険協会予算（案）

令和6年度 第3回全国健康保険協会長崎支部評議会



令和7年度 協会けんぽ業務経費及び一般管理費の概要（案）

1. 令和7年度業務経費及び一般管理費予算の総額

予算総額 3,373億円（対前年度予算比 +185億円）

※事業内容や予算額はいずれも現時点の見込みであり、今後変更する場合があります。

内訳 業務経費 2,391億円（対前年度予算比 +91億円）

一般管理費 982億円（対前年度予算比 +94億円）

2. 各予算の内訳及び主な増減要因について

（1）業務経費

企画・サービス向上関係経費 【80.7億円（対前年度比 +19.3億円）】

地域の健康課題の解決に向けて支部が取り組む事業経費（保険者機能強化予算）、広報計画に基づく各種広報経費、お客様サービスの向上のための経費（コールセンター）等

＜主な増減要因＞

- ・現役世代への健診事業の拡充（人間ドック健診に対する費用補助や若年層（20、25、30歳）を対象とした健診等）の周知広報の実施に伴う増（+3.1億円）
- ・バイオシミラーの使用促進に向けた医療提供者への働きかけ（令和6年度パイロット事業）について、全支部での実施に伴う増（+1.2億円）
- ・コールセンターの対象支部拡大（全支部）に伴う増（+13.0億円）

令和7年度 協会けんぽ業務経費及び一般管理費の概要（案）

保健事業経費 【2,030.8億円（対前年度比 +115.1億円）】

生活習慣病予防健診、特定保健指導、地域の実情を踏まえた協会と事業主が協働した従業員の健康維持・増進のためのコラボヘルス事業経費等

<主な増減要因>

- ・ 健診実施者数の増加（13,424,147人（対前年度+748,579人））による増（+83.6億円）
- ・ 特定保健指導実績評価者数の増加（594,296人（対前年度+85,856人））による増（+23.9億円）
- ・ **（新規）**胸部エックス線検査における要精密検査・要治療判定者のうち、その後の受診が確認できない者への受診勧奨の新規実施による増（+0.1億円）

保険給付等業務経費・レセプト業務経費・福祉事業経費 【279.1億円（対前年度比 △43.4億円）】

資格確認書発行経費、申請書の入力業務や支給決定通知書等の帳票作成・発送業務経費、オンライン資格確認・マイナンバー収集業務経費、返納金等債権管理回収経費、保険給付申請の不正請求対策経費、医療費通知の発行経費、レセプト点検経費、高額医療費等の貸付事業等

<主な増減要因>

- ・ 「資格情報のお知らせ」の一括発行経費の減（△99.1億円）
- ・ 「資格確認書」の一括発行経費の増（+49.0億円）

（２） 一般管理費

人件費・福利厚生費 198.1億円（対前年度比 +11.0億円）

職員の給与、役員報酬、退職手当、法定福利費、役職員にかかる健診費用等にかかる経費等

＜主な増減要因＞

- ・ 人事院勧告による公務員の給与改定を踏まえた給与水準の見直しや昇給昇格に伴う職員給与の増（+8.6億円）

一般事務経費 784.0億円（対前年度比 +82.9億円）

システム経費（電子申請システム対応、保健事業システムの機能拡充対応及びシステム基盤中期更改対応等）、事務室賃借料、事務室の移転・改修に伴う経費等

＜主な増減要因＞

- ・ 電子申請システム対応開発経費及び協会のDXの推進にかかるシステム経費の増 +39.9億円
- ・ システム基盤のリース満了等に伴う機器更改に係る設計・開発・保守に要する費用の増 +37.3億円
- ・ **（新規）** 現役世代への健診事業の拡充（人間ドック健診に対する費用補助や若年層（20、25、30歳）を対象とした健診等）に係るシステム対応による増 +10.7億円

令和7年度 協会けんぽ業務経費及び一般管理費の内訳（案）

区分	R7年度予算（案）	R6年度予算	前年度比
総額	337,280	318,780	18,500
1.業務経費合計	239,066	229,957	9,109
2.一般管理費合計	98,214	88,823	9,390

（単位：百万円 小数点第1位を四捨五入）

1. 業務経費

区分	R7年度予算（案）	R6年度予算	前年度比	主な増減要因等
① 企画・サービス向上関係経費	8,073	6,140	1,933	
広報経費	1,218	876	342	・現役世代への健診事業の拡充（人間ドック健診に対する費用補助や若年層（20、25、30歳）を対象とした健診等）の周知広報の実施に伴う増 +309百万円
調査研究経費	109	140	△ 30	・新たに採用した外部委託研究の実施見込額等を踏まえた減 △26百万円
保険者機能の総合的な推進経費	1,019	895	124	・バイオシミラー（バイオ後続品）使用促進ツールの作成に係る経費に伴う増（10支部→47支部）+117百万円
業務改革・サービス向上経費	3,365	2,086	1,279	・コールセンターの対象支部拡大（全支部）に伴う増（12支部→47支部）+1,298百万円
支部医療費適正化等予算	1,000	1,000	0	
保険者努力重点支援プロジェクト関係経費	47	47	0	
その他経費	1,314	1,097	218	・郵便料金の改定等に伴う増
② 保健事業経費	203,083	191,569	11,514	
健診経費 〔生活習慣病予防健診、特定健診に係る補助費用 等〕	174,805	166,442	8,363	・健診実施者数の増加による増 +8,363百万円 生活習慣病予防健診 6年度：61.7%（9,997,355人） → 7年度：63.5%（10,651,400人） 事業者健診データ 6年度：8.8%（1,430,915人） → 7年度：9.0%（1,510,058人） 特定健診 6年度：30.3%（1,247,298人） → 7年度：31.6%（1,262,689人）
保健指導経費 〔特定保健指導に係る補助費用 等〕	17,600	15,007	2,593	・特定保健指導実績評価者数の増加による増 +2,392百万円 被保険者 6年度：21.5%（489,014人） → 7年度：24.3%（573,220人） 被扶養者 6年度：18.1%（19,426人） → 7年度：19.4%（21,076人）
健診及び保健指導に係る事務経費 〔健診・特定保健指導の受診案内 保健指導用パンフレット作成 等〕	4,023	3,792	232	・郵便料金の改定に伴う増
その他保健事業経費 〔未治療者受診勧奨（一次勧奨） 等〕	376	354	22	・郵便料金の改定等に伴う増 ・（新規）胸部エックス線検査における要精密検査・要治療判定者のうち、その後の受診が確認できない者への受診勧奨の新規実施による増 +10百万円
支部保健事業予算 〔集団健診・事業者健診結果データの取得（外部委託） 健診・特定保健指導受診勧奨 コーポヘルス事業・未治療者受診勧奨（二次勧奨） 重症化予防に係る費用 等〕	5,000	5,000	0	
その他経費	1,279	974	306	・最低賃金の改定に伴う契約職員の時給単価の見直し等による増 +306百万円

令和7年度 協会けんぽ業務経費及び一般管理費の内訳（案）

	R7年度予算（案）	R6年度予算	前年度比	主な増減要因等
③ 保険給付等業務経費	21,469	26,378	△ 4,909	
資格確認書等の発行及び回収・被扶養者資格の再確認経費	10,221	15,487	△ 5,266	・「資格情報のお知らせ」の一括発行経費の減 △9,912百万円 ・「資格確認書」の一括発行経費の増 +4,898百万円
健康保険給付関係届等の入力・送付等経費	6,767	6,342	425	・郵便料金の改定に伴う増
返納金等債権管理回収経費	115	110	5	
不正請求等対策経費	108	103	5	
その他経費	4,258	4,337	△ 79	・直近の実績等を踏まえた振込手数料の減 △75百万円
④ レセプト業務経費	6,441	5,869	572	
レセプト磁気媒体化経費	42	56	△ 15	・令和7年度予定数の減少に伴う減 △15百万円
医療費通知経費	2,237	2,014	223	・郵便料金の改定に伴う増
レセプト点検経費	160	165	△ 5	
その他経費	4,002	3,634	368	・最低賃金の改定に伴う契約職員の時給単価の見直し等による増 +368百万円
⑤ 福祉事業経費	1	1	0	
高額医療費等の貸付事業	1	1	0	

令和7年度 協会けんぽ業務経費及び一般管理費の内訳（案）

2. 一般管理費

区分	R7年度予算（案）	R6年度予算	前年度比	主な増減要因等
① 人件費	19,718	18,649	1,068	
職員給与	16,056	15,194	862	・ 人事院勧告による公務員の給与改定を踏まえた給与水準の見直しや昇給昇格に伴う職員給与の増 +862百万円
役員報酬	111	110	0	
退職手当	956	888	67	・ 退職予定者の増に伴う増 +67百万円
法定福利費	2,595	2,457	139	・ 給与、賞与の増に伴う増 +139百万円
② 福利厚生費	92	64	29	
職員健診等	92	64	29	・ 単価見直しによる増 +14百万円 ・ 予防接種の費用補助等による増 +14百万円
③ 一般事務経費	78,404	70,110	8,294	
システム経費	69,682	61,783	7,900	・ 電子申請システム対応開発経費及び協会のDXの推進にかかるシステム経費の増 +3,985百万円 ・ システム基盤のリース満了等に伴う機器更改に係る設計・開発・保守に要する費用の増 +3,727百万円 ・ （新規） 現役世代への健診事業の拡充（人間ドック健診に対する費用補助や若年層（20、25、30歳）を対象とした健診等）に係るシステム対応による増 +1,069百万円
賃借料	4,629	4,184	445	・ 契約更新等に伴う増 +445百万円
その他経費	4,093	4,144	△ 51	・ ペーパーレス化の推進等に伴う消耗品費及びリース費用の減（コピー用紙、プリンタ・複合機トナー、コピー機） △108百万円 ・ 職員異動に伴う引越業務委託費や事務室清掃費用の価格高騰等による増 +44百万円